

# 株式会社ソフトフロント

## 2015年3月期 第2四半期決算説明資料

---

2014年10月31日

この資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しの上に全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

# 2015年3月期 第2四半期業績の概要

---

執行役員 財務担当 五十嵐達哉

## 業績の概要

(単位：百万円)

	2014年3月期 第2四半期 (非連結)	2015年3月期 第2四半期 (連結)	ご参考 2014年3月期 通期実績 (非連結)
売上高	313	118	597
営業損益	△72	△239	△207
経常損益	△74	△240	△213
当期純損益	△72	△242	△247

中期経営計画2年目の中、国内開発拠点の統合、札幌から東京への本社移転、ベトナム現地法人の強化、様々な新規パートナーとの提携などの施策を進めているものの、成果が現れるまでには一定の時間を要している状況。

## 「売上高」の状況

(単位：百万円)

	2014年3月期 第2四半期 (非連結)	2015年3月期 第2四半期 (連結)	ご参考 2014年3月期 通期実績 (非連結)
売上高	<b>313</b>	<b>118</b>	<b>597</b>
ソフトウェア販売	<b>153</b>	<b>41</b>	<b>252</b>
受託開発	<b>156</b>	<b>74</b>	<b>328</b>
その他	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>16</b>

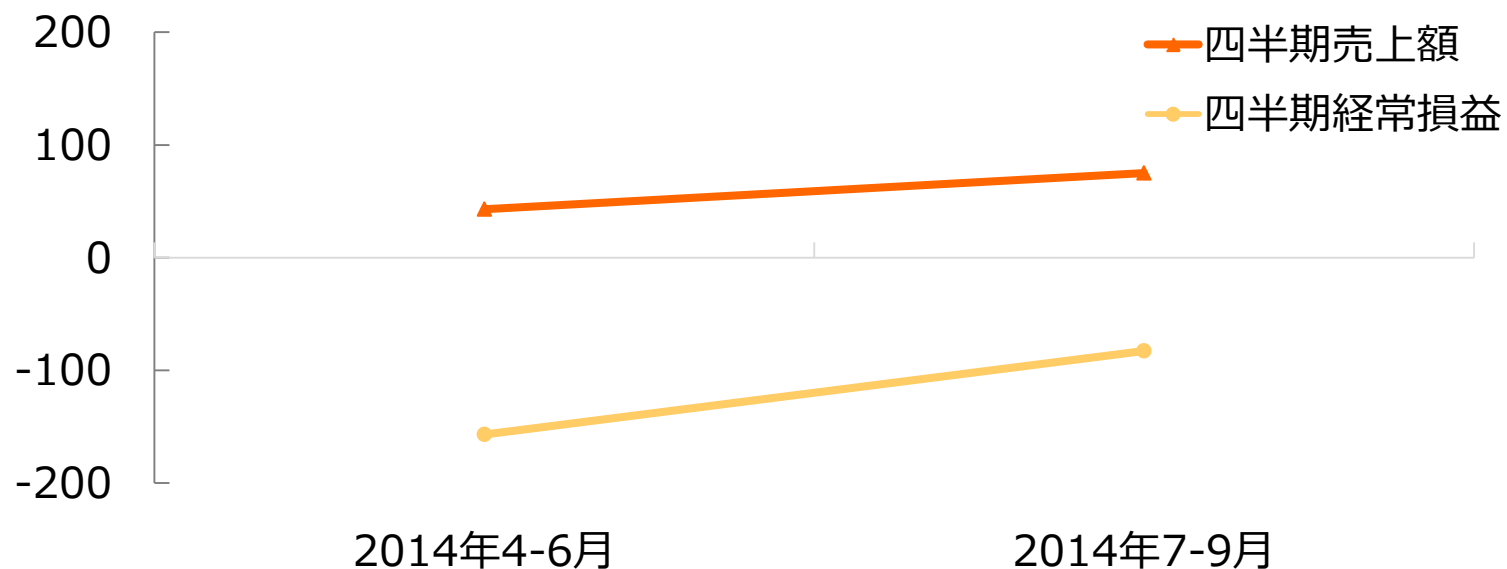
ソフトウェア販売、受託開発共に、上期の通信事業者向け販売が下期以降にずれ込んだため、売上高が減少。

受注が回復傾向にあるため、下期以降は売上高も増加する見込み。

## 四半期別業績推移

(単位：百万円)

	2014年4-6月	2014年7-9月
四半期売上額	43	75
四半期経常損益	△157	△83



## 2015年3月期第2四半期：キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	△122
税金等調整前四半期純利益	△242
減価償却費	52
売上債権の増減額（△増加）	103
仕入債務の増減額（△減少）	△14
その他	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	345
現金及び現金同等物に係る換算差額	1
現金及び現金同等物の増減額	195
現金及び現金同等物の期末残高	712

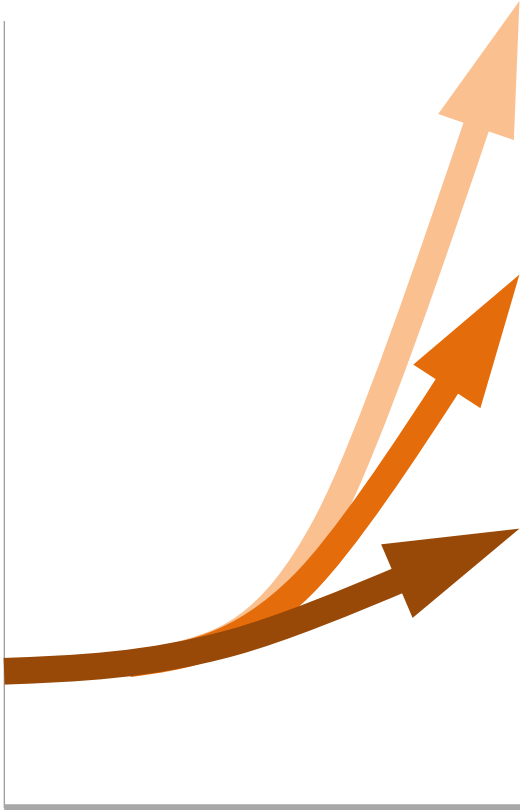
# 事業展開について

---

代表取締役社長 阪口克彦

# 中期経営計画の進捗状況及び今後の取り組み

## ソフトフロントの成長イメージ



③ デジタルポストを始めとするサービス事業に取り組み、新たな成長を図る

② 新規市場としてアジアマーケットを狙う海外事業を興し成長を図る

① SIPを中心とした従来の既存事業をベースとして緩やかな成長を図る

## 進捗と今後の取り組み

- ・デジタルポスト関連事業の強化、拡大
- ・新たなサービス提供に向けたパートナー企業への協業開始

- ・ベトナム子会社強化
- ・ベトナム市場でのソフトウェア製品販売等の準備

- ・NTTグループと電力系通信事業に注力
- ・事業拡大に向けた新たな製品開発販売を検討



## 2014年度上半期の成果

### ■ 組織

- 東京と札幌に分散していた開発拠点を1拠点に集約（6月）
- 本店を札幌から東京に移転（7月）

### ■ 既存事業領域

- スマホアプリ「LivyTalk」がNTT西日本社「スマート光ライフアプリ」の連携アプリに採用（6月）
- 「LivyTalk For 光だんらんTVライト」がNTTアイティ社「ひかり健康相談」サービスと連携（10月）

### ■ サービス事業領域

- スタートアップ企業をターゲットとした新規パートナーとの提携  
サムライインキュベート社（4月）  
Cloud Payment社（6月/クレジットカード決済等）  
KDDI ∞ Labo（7月）  
アピアリーズ社（9月/BaaS(Backend as a Service)）

### ■ 海外事業領域

- ベトナム現地法人体制強化（規模を拡大し、ソフトウェア開発の低コスト化に貢献）
- ベトナム市場でのソフトウェア製品販売等の準備

下期の業績回復に向けた基礎固め

## 資金調達

---

# 第8回新株予約権の行使が上期中に進み、 前期から通算して総額約5億円の資金を調達

- 平成26年3月24日付で、Oakキャピタル株式会社に対し第三者割当による新株式及び第8回新株予約権を発行（2014/3/3及び2014/3/24リリース発表）
- 新たなサービス事業領域に資金を有効活用する予定

# *SIP connects the future*



**ソフトフロントはSIP技術を基に  
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します**